

おしえて！グル子

実験動物用血糖測定器

試験研究用
医療目的、診断目的で
はご使用になれません。

取扱説明書



ご使用前に

1. 試験研究用です。医療目的、診断目的ではご使用になれません。
2. この取扱説明書に規定される方法以外で使用しないでください。
3. 指定された消耗品、付属品以外は使用しないでください。
4. 故障したと感じる場合は使用しないでください。
5. 電磁波が発生する場所では使用しないでください。

目次

1	使用目的
2	測定原理
3	製品の外観
4	センサー
5	本体の設定
6	測定方法
7	メモリーの呼び出し方
8	電池の交換方法
9	トラブルシューティング
10	製品仕様
11	保証書

1 使用目的

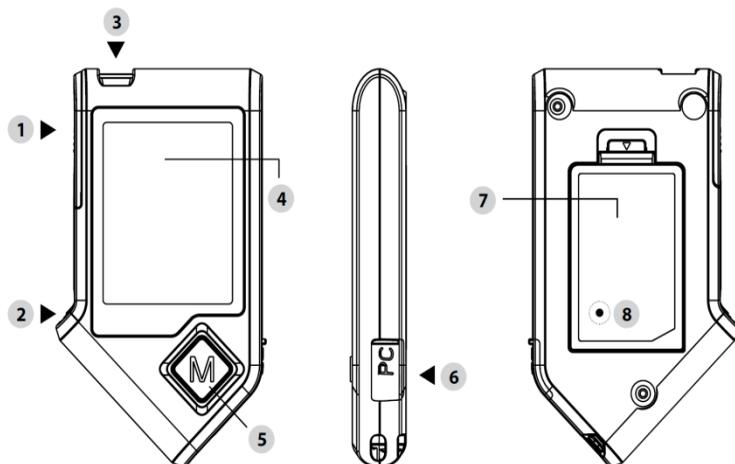
本製品は実験動物の血中グルコースを測定するものです。測定検体には実験動物より採取した全血、あるいは血漿を使用します。

2 測定原理

血液中のグルコースに対して以下の反応1を誘発させます。
反応1で発生したFerrocyanideを反応2で電気化学的に定量しグルコースの量を算出します。

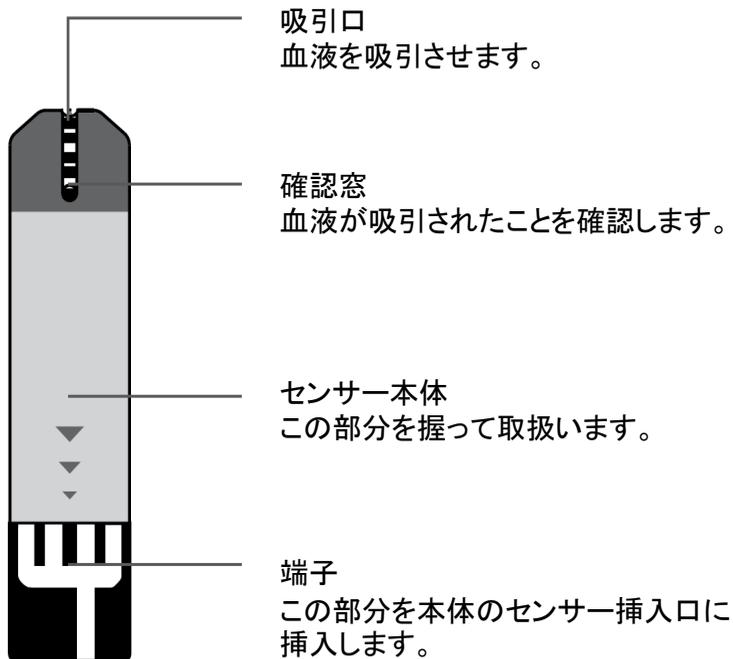


3 製品の外観

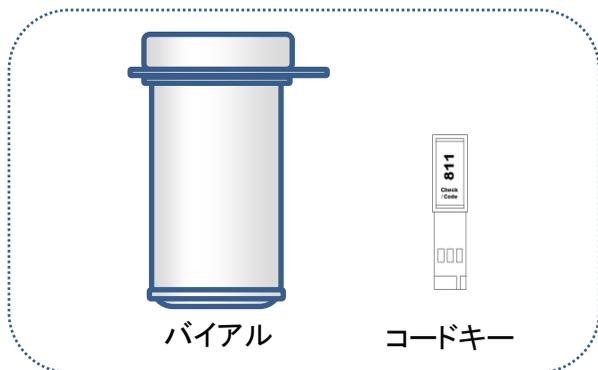


- ①イジェクター
センサーを排出させます。
- ②Cボタン
使用しません。(※工場出荷時調整用)
- ③センサー挿入口
センサーを挿入します。
- ④ディスプレイ
測定結果など情報を表示します。
- ⑤Mボタン
メモリーを表示させます。本体の設定にも使用します。
- ⑥データポート
使用しません。(※工場出荷時調整用)
- ⑦電池カバー
電池交換時、および本体の設定時にはずします。
- ⑧セットボタン
本体の設定時に使用します。

4 センサー・ゲル子

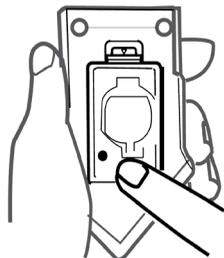


この面を手前にして本体に挿入します。
センサーの向きにご注意ください。



5 本体の設定

はじめてご使用になる前、あるいは電池を交換した場合には本手順に従って設定を行ってください。



電池カバーを外してセットボタンを押してください。



1 年の設定

「年」が点滅しています。Mボタンで合わせて、セットボタンを押してください。



2 月の設定

「月」が点滅しています。Mボタンで合わせて、セットボタンを押してください。



3 日の設定

「日」が点滅しています。Mボタンで合わせて、セットボタンを押してください。



4 時の設定

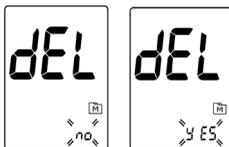
「時」が点滅しています。Mボタンで合わせて、セットボタンを押してください。



5 分の設定

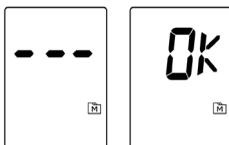
「分」が点滅しています。Mボタンで合わせて、セットボタンを押してください。

5 本体の設定

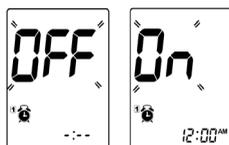


6 メモリーの消去

「dEL」が表示され「no」が点滅しています。メモリーを消去したい場合はMボタンを押して「yes」を表示させ、セットボタンを押します。メモリーが全て消去され「OK」が表示されます。

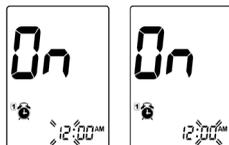


メモリーを消去しない場合は「no」が点滅している状態でセットボタンを押します。



7 時刻アラーム

4種類の時刻アラームを設定することができます。



が表示された状態でMボタンを押すと「OFF」が「On」に変わります。セットボタンを押して「時」を点滅させます。Mボタンで合わせ、セットボタンを押してください。

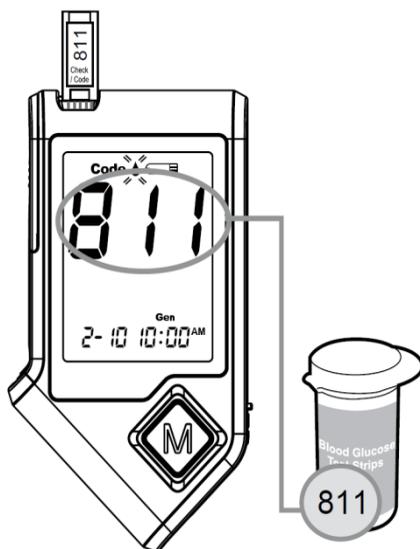
「分」が点滅しています。Mボタンで合わせ、セットボタンを押してください。

が表示されます。必要に応じて上記の手順を繰り返してください。必要なければセットボタンを三回押してください。「OFF」が表示され電源が切れます。

これで本体の設定は終了しました。

6 測定方法

【測定の前に】

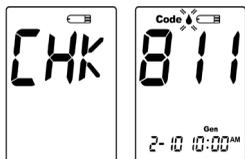


センサー・グル子のバイアル毎にロット補正を行いますので、センサーを新しく開封した場合には付属の「コードキー」を本体の「センサー挿入口」に差し込んでください。

ディスプレイに数字でコードが表示されますので、バイアルの表示と同じであることを確認して「コードキー」を抜いてください。ディスプレイに「OK」が表示され測定準備が完了します。

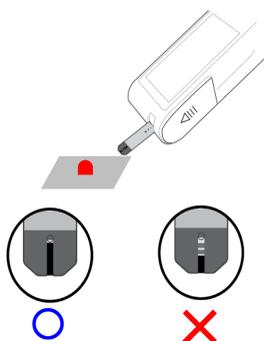
6 測定方法

【検体測定モード】



1 センサーを挿入してください。☹️と💧が表示されます。また、「Gen」が表示されていることも確認してください。

※「QC」と表示されている場合はMボタンを押して「Gen」に変更してください。「QC」は工場出荷時調整用です。

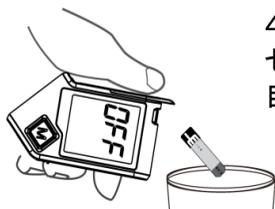


2 採取した検体にセンサーの吸引口を近づけて吸引させてください。センサーの確認窓を見ながら十分な検体を吸引させます。

※十分な検体量が吸引できなかった場合は再度、新しいセンサーを使用して吸引させてください。追加吸引させないでください。



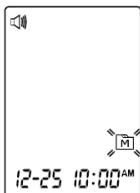
3 十分な検体量が吸引された後、5秒で結果が表示されますので確認してください。



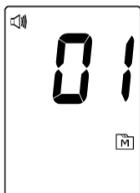
4 イジェクターをスライドさせ使用済みのセンサーを取り外して処分してください。自動的に電源が切れます。

7 メモリーの呼び出し方

【測定結果の表示】



1 Mボタンを押してください。
ディスプレイに「M」が表示されます。



2 再度Mボタンを押してください。検体測定モードで測定した直近の結果が日時情報とともに表示されます。

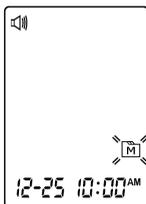


3 Mボタンを押すごとに過去の結果にさかのぼります。

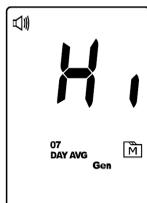
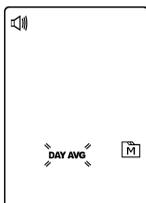
4 最後の結果を表示したあとにMボタンを押すと「END」に続き「OFF」が表示され電源が切れます。

7 メモリーの呼び出し方

【平均値の表示】



1 Mボタンを押してください。
ディスプレイに「M」が表示されます。



2 Mボタンを押したままにして「DAY AVG」が表示されたらボタンから手をはなしてください。当日を含め過去7日間に測定した平均値が表示されます。

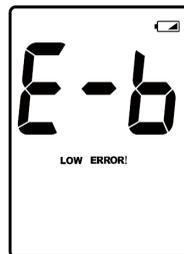
3 Mボタンを押すごとに14日間、21日間、28日間、60日間、90日間の各平均値を表示します。

4 90日間の平均値を表示したあとにMボタンを押すと「END」に続き「OFF」が表示され電源が切れます。

8 電池の交換方法

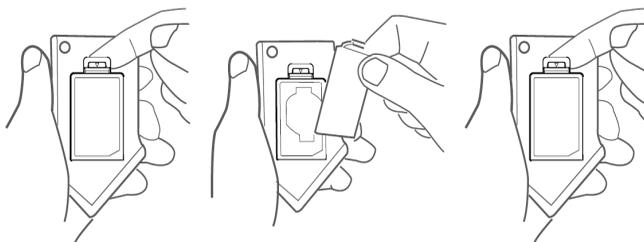
電池容量の低下

右の画面が表示されたら電池を交換してください。



電池の交換方法

交換の前に製品の電源が切れていることを確認してください。



- 1 電池カバーの端を持ち上げて外してください。
- 2 古い電池を取り出し新しい電池を入れてください。
電池はコイン型リチウム電池CR2032です。
古い電池を取り外す際は電池の下に、つまようじなどを入れて上に持ち上げると外しやすくなります。
電池がきちんとはいると、「ピー」と音がします。
- 3 「5 本体の設定」に従って日時設定を行い、電池カバーを閉めてください。
※電池を交換しても、メモリーは消去されません。

9 トラブルシューティング

【検体結果の表示】

表示	原因
	測定可能範囲を下回っています。
	測定可能範囲を上回っています。

【エラーメッセージ】

表示	原因	対処方法
	測定に必要な電池残量がありません。	新しい電池に交換してください。
	使用済みのセンサーが挿入されました。	新しいセンサーで測定してください。
	測定中にセンサーが取り外されました。 もしくは測定中にエラーが発生しました。	新しいセンサーで再度測定しても同じメッセージが表示される場合は輸入元にお問い合わせください。

9 トラブルシューティング

【エラーメッセージ】

表示	原因	対処方法
	異なるコードキーが挿入されました。	正しいコードキーを挿入してください。 表示のコード番号とセンサバイアルのコード番号が同じであることを確認してください。
	使用期限を過ぎたセンサーが挿入されたため測定を中止しました。	使用期限内のセンサーを使用してください。
	測定可能な温度範囲を下回ってます。	測定可能な温度は10°Cから40°Cの間です。
	測定可能な温度範囲を上回っています。	この温度範囲の中で機器をなじませてから再度測定してください。
  	測定中にエラーが発生しました。	新しいセンサーで測定しても同じメッセージが表示される場合は輸入元にお問い合わせください。

10 製品仕様

製品名	おしえて！グル子
製品番号	SUGL-001
サイズ	L95 x W49 x H14 (mm)
重量	42g
電源	DC3Vリチウムイオン電池(CR2032) × 1個
記憶容量	400件
使用環境	温度：10～40℃ 湿度：95%(RH)以下 ※結露なき状態
測定範囲	20～600mg/dL
必要検体量	1.1μL

輸入元

株式会社フォラケア・ジャパン
東京都港区新橋5-10-8 FORAビル
03-6452-8640（土日祝日を除く10:00～17:00）